

愛媛のスゴVen.

先駆け企業

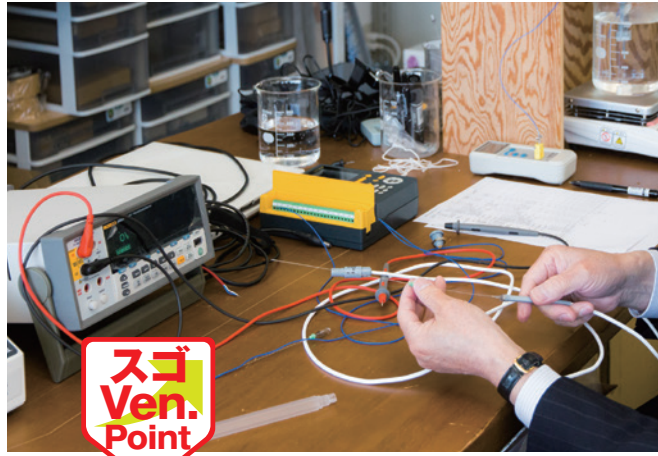
■企業プロフィール

〒790-0054
愛媛県松山市空港通1-8-16
TEL / 089-989-5917
FAX / 089-989-5927
設立 / 平成15年9月
資本金 / 1億3,394万円
事業内容 / 標準治療が終了した再発・転移がんに対して、熱による腫瘍の消退を図る治療技術及び医療機器の研究開発・製造販売
<http://www.admetech.co.jp>
info.admetech@gmail.com

■会長プロフィール

1958年福岡県生まれ。同志社大学工学部機械工学科卒。三浦工業(株)での勤務を経て、2003年に(株)アドメテックの経営参加、現在に至る。
座右の銘は「狭き門より入れ」
趣味はトレッキング。

株式会社アドメテック 再発や転移がんを「熱」で治療する 新たな医療機器を開発!



代表取締役会長
Shinnichi Nakazumi

中住 慎一

メディカルとテクノロジーの融合で
新しい治療技術を確立する



スローガン

●治療手段が限られる再発・転移がんを「熱」によって消退させる
●手術や放射線、抗がん剤など既存療法との併用で最大効果を得る

オリジナル製品サービス

●腫瘍を低温焼灼し繰り返し繰り返し治療が可能
●動物専用・電気焼灼器AMTC200
●再発・転移がんを熱で消退させ、3大療法との併用で効果を挙げるヒト用の機器

メディカルとテクノロジーが融合して 新たな治療技術が、前へ!

アドバンスド・メディカル・テクノロジー、その頭文字を取って命名されたアドメテック。文字通り、医療と工学が融合、連携し、新たな医療技術の開発に向け設立された企業だ。代表である中住社長は、三浦工業株式会社で長年「熱」とかかわってきたエンジニア。退職後、愛媛大学に設置されていた地域共同研究センターで客員教授を務めていたときに、がんに対する新たな医療技術と出会うことになる。その根幹を成す手法が、奇しくも

長年かかわってきた「熱」というのも、ある意味、天命だったのかもしれない。

「がんは熱に弱い」ことは 太古の昔から知られていた

がんに侵された患者が伝染病にり患し高熱を発した後、がんが身体から消えていた、ある種不思議な話は早くから医療の世界でも認知されており、注目されてはいた。ただ、ピンポイントで伝熱させ、微細な制御を行う術が未開発であった。理論はあっても技術的な裏付けを欠いていたところに、中住社長へ声

新たな治療法の臨床試験も佳境に 海外での認証も視野に

がっかり「技術者魂に火がついた」社長の下、技術と製品の開発が行われてきた。特筆すべきは「熱」によって腫瘍細胞を大幅に消退させ、平生は不活性で放射線や抗がん剤で狙いにくい、「がん幹細胞」をも変性させる能力を持つこと。加えて、極微細加熱針を病変部に挿入するルートを通じて、免疫細胞や抗体医薬品を送り込み、その効果を全身に行き渡らせることも可能。同社が取り組む「熱」を利用した新たな治療技術は、既存の治療法との併用によってさらなる効果も期待できるほか、副作用の懸念も無いので繰り返し使用できるメリットをも持っているのだ。

試験用機器に装着し、患部に向けピンポイントで挿入する加熱2重針の直径は0.7ミリ。内包する極微細加熱針の内径に至っては0.3ミリであり、その先端には温度センサーが内蔵されており、高度かつ微細な温度制御によって的確に治療を行う。高度な技術に裏打ちされ、QOL度も高く、既存の療法との併用による効果も期待できる、新たな技術の行き着く先は、国による承認。そのための臨床試験も着実に進められており、あわせて欧州CEマーキングなどの認証取得も含め、次のステージに向けての取り組みも着々と始まっている。